

## 日程及び訪問記録

### ○10月29日（火）

- 午前 中部国際空港発  
ロサンゼルス着（成田経由）
- 午後 日本政府観光局（JNTO）  
ウエストフィールド・センチュリー・シティ

### ○10月30日（水）

- 午前 ロサンゼルス統一学区（LAUSD）
- 午後 バーミンガム・コミュニティ・チャーター・ハイスクール

### ○10月31日（木）

- 午前 ロサンゼルス公共図書館
- 午後 ロサンゼルス市衛生環境局  
在ロサンゼルス日本国総領事館

### ○11月1日（金）

- 午前 ロサンゼルス市議会（ドジャース優勝パレード開催のため市役所閉鎖により中止）
- 午後 ロサンゼルス港湾局主催昼食会  
ロサンゼルス港湾局

### ○11月2日（土）

- 終日 「名古屋デー2024」
- 夜 姉妹都市提携65周年記念VIPレセプション・夕食会

### ○11月3日（日）

- 午前 ロサンゼルス国際空港発

### ○11月4日（月）

- 夜 中部国際空港着（成田経由）

10月29日(火)

○日本政府観光局(JNTO)訪問

場 所：日本政府観光局(JNTO)

出席者：田中陽子所長

由井和秀上席次長

内 容：インバウンドに関して、米国市場概況及びロサンゼルス事務所実施事業について説明を受けた。

【先方からの説明内容】

- ・2023年には延べ1億人が海外へ出かけており、その半数がカナダやメキシコを訪れている。
- ・訪日は、2024年1～9月で200万人近くに上り、今後紅葉シーズンでさらに伸びると見込んでいる。そのうち7割が初訪日で、東京や京都、大阪のほか、沖縄も訪問されている。
- ・名古屋については、「名古屋にあるテーマパークからは、キッズフレンドリーなイメージがある。京都だけでは子どもにとっては退屈であり、名古屋に荷物を置いて移動してもらうこともできる。コスプレはアメリカでも人気がある。トヨタ産業技術記念館やリニア鉄道館など、子ども向けの産業観光も良い」とのコメントをいただいた。
- ・プロモーションのトレンドとしては、個人旅行客にはSNSなどオンライン、富裕層やファミリー層には旅行会社向けが有効とのこと。言語面のハードルから日本旅行に難しいイメージを持ち、旅行会社にアレンジを頼みたいという人もいる一方で、旅行会社の担当者でも日本に行ったことのない人もいるため、日本を実際に知ってもらうことも重要である。

○ウエストフィールド・センチュリー・シティ視察

場 所：ウエストフィールド・センチュリー・シティ

内 容：11月2日(金)に姉妹都市提携65周年記念イベントを開催する会場である同所の視察を行った。

10月30日(水)

○ロサンゼルス統一学区(LAUSD)訪問

場 所：ロサンゼルス統一学区

出席者：ジョエル・E・シスネロス エグゼクティブディレクター

サラ・ムーニー 開発・市民活動担当ディレクター

ディクソン・ペレイ カウンセリングコーディネーター

内 容：LAUSDの児童生徒に対するメンタルヘルスに関する取り組み、スクールカウンセラー制度等に関すること、またLAUSDには多様な出自の児童生徒がいるため、多言語教育や多文化共生に係る取り組みに

についてもヒアリングを行った。

【先方からの説明内容】

- ・ L A U S DはA S C A (American School Counselor Association アメリカスクールカウンセラー協会) のガイドラインを導入している。
- ・ A S C Aの多層的・多次元的な支援システム(MTSS)を取り入れている。
- ・最も大きな問題は、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなど担当する職員がいかに生徒、家族とコミュニケーションをとっていくかということ。
- ・(現状L A U S Dはやめていく児童生徒が多いが) 生徒を100%卒業させるという数値目標を持っている。
- ・800人のソーシャルワーカーと200人のリソースナビゲーターがいるが、ソーシャルワーカーには修士号を持っている者もあり、専門職の育成に力を注いでいる。
- ・10%以上欠席がある場合は慢性的な不登校と定義づけしており、不登校対策として未然防止の取組に力を入れている。
- ・**職種に関係なく、L A U S Dの7万人すべての職員(教員だけでなく、事務員や調理員、カフェテリアの従業員を含む)が1年に1度60分間の研修を受けなければならない。**研修は生徒の兆候を見つけ、対応していくためにどうすればよいかといった内容を中心に行う。
- ・不登校の原因のひとつに貧困があるが、地域とのパートナーシップが重要、住居、食料等、ローカルビジネスとロサンゼルス市からの援助が出来るよう、貧困からホームレスにエスカレートしないよう、政府との関係を強く維持するようにしている。
- ・移民の子女に対する教育は、インターナショナルニューカマーアカデミー(International Newcomer Academy)という制度を運用しており、いくつかの拠点となる高校に設置している。300人程度を受け入れている。
- ・9~12年生(中学3年生~高校3年生)を対象としており、海外で出生した生徒の英語教育を中心に行っている。学校生活やメンタル面のサポートなどを生徒・家族・教師を対象に多角的に行っている。



**バーミンガム・コミュニティ・チャーター・ハイスクール視察**

場 所：バーミンガム・コミュニティ・チャーター・ハイスクール

出席者：アリ・ベネット校長

アイザック・アラトーレ カウンセリング担当副校長

エリカ・ロペス カレッジカウンセラー ほか14名

内 容：キャリア教育に係るヒアリング及び授業の見学、併せてスクールカウンセラー等についてのヒアリングを実施。キャリア教育については地元企業のニーズ把握や大学とのパートナーシップの重要性について説明を受け、スクールカウンセラーについてはそれぞれ学年ごとに受け持ちがあり、在学中は同じカウンセラーが同じ生徒を担当する。またカウンセラーの分業体制や人材育成についても説明を受けた。

**【先方からの説明内容】**

(バーミンガム・コミュニティ・チャーター・ハイスクール)

- ・ロサンゼルス市の北部に位置し、低所得から平均的な所得の家庭が中心
- ・在校生は約3千名、86%がヒスパニック系

(キャリア教育)

- ・社会へ出るときに生徒がソフトスキルを十分に身に着けていることを目標として実施
- ・学校が所在する地域の産業をベースに授業を構え、また地域の産業や大学とのパートナーシップを形成して、地元の大学から講師を招くなどして実施している。
- ・授業は予め決めておく形ではなく、その都度授業に参加する生徒の興味や希望に基づいて内容を決めて行く形式。
- ・講師のほとんどはボランティアでお願いしているが、比較的長期間（5週間程度）にわたる場合は、謝礼を支給している場合もある。
- ・通常の授業とは別に実施され、1ターム3か月程度

(スクールカウンセラー関連)

- ・**各学年に3名のアカデミックカウンセラーと1名のPSW(精神科ソーシャルワーカー)を配置**している。また、そのほかにもカレッジカウンセラー、キャリアカウンセラー、アテンダンスカウンセラーを配置している。
- ・基本的に各学年の受け持ちのカウンセラーは担当学年と持ち上がりとなるため、**1名の生徒に卒業までずっと同じ担当がつく**ことになる。
- ・生徒の不登校について、アテンダンスカウンセラーは不登校の分析をするとともに、家族への働きかけを行い、必要に応じてPSWにつないでいく。
- ・PSWは生徒のメンタルヘルスに関する仕事をしており、個別の面談や、月ごとにキャンペーンを実施している。
- ・医療につながり場合、間を繋ぐエージェントがおり、介入してくれる。

- ・保護者にメンタルヘルスの重要性を伝えることも大事であり、ワークショップを開催したり、ZOOMでセミナーを行ったりもしている。
- ・カウンセラーと認定されるには3000時間の研修が必要、また、カウンセラーの中には、心理学もしくは教育学の修士を持っている人もいる。
- ・チャーターハイスクールであるため、州政府からの補助金を受けている（他の高校よりは生徒にきめ細かな対応ができています）。





### ○ロサンゼルス市公共図書館

場 所：ロサンゼルス市公共図書館（中央図書館）

出席者：ジョン・スザボ館長 ほか4名

内 容：ロサンゼルス市中央図書館を訪問し、視察とヒアリングを実施した。同図書館は地域の生涯学習、地域のコミュニティへの貢献、多文化共生などの社会課題の対応、文化芸術の振興など、従来の図書館の枠に縛られない広い役割を担っていることについて説明を受けた。

#### 【先方からの説明内容】

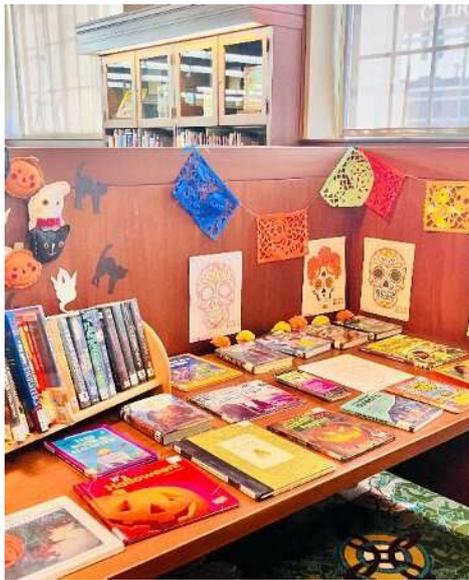
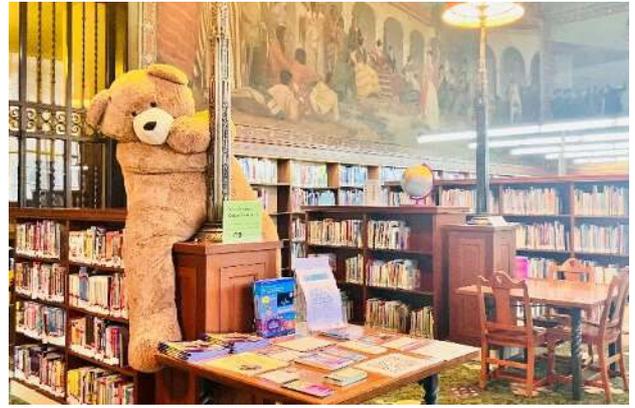
(図書館のソフト事業について)

- ・同図書館の蔵書は800万冊、400万点の資料を擁している。
- ・同図書館は地域とのつながりを非常に重視しており、ちょうど訪問した翌日にドジャースの優勝パレードが行われる予定であり、同図書館もパレードの運営に関与しているとのこと。
- ・ドジャースの選手やコーチにも来館してもらい、子どもへの本の読み聞かせなどの交流を行ってもらっている。
- ・単に本を貸し出す施設というだけでなく、地域に貢献していくのが図書館の

使命と考えており、地域に開かれた図書館として、地域の拠点としての役割を果たすことを重視している。

- ホームレス対策や、市民及び図書館スタッフへのメンタルヘルス対策としてのソーシャルワーカーによるサービスや、高卒認定試験への学習援助、新たな移民に対する英語教育や生活支援などのための相談事業、多言語でのプログラムの提供なども行っている。
- 移民への支援は73の分館も含め、すべての館で窓口を設置、相談事業を行っている。
- 日本語での読み聞かせのプログラムも行っており、この参加者は日本にルーツを持つ人だけでなく、様々なルーツを持つ人も参加している。
- 地域のイベントやパレードへの移動図書館の参加や、不要本の無料配布も行っている。
- 貧困層にも学習や芸術活動の機会を提供するため、ノートパソコン・Wi-Fi、ポッドキャストやミシン、3Dプリンターを無償で利用できるようにしている。







○ロサンゼルス市衛生環境局

場 所：ロサンゼルス市衛生環境局

出席者：マス・ドジリ アシスタントジェネラルマネージャー  
他1名

内 容：ロサンゼルス市は名古屋市と同様に「イクレイ（ICLEI）ー持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会」に加盟しており、持続可能な社会の実現を目指し様々な施策を行っており、その中で生物多様性に係る取り組みを中心にヒアリングを実施した。

### 【先方からの説明内容】

- ・ロサンゼルスは中心部と郊外全体で合計約 1200 平方キロにも及び、地域によって環境条件や気候など大きな差がある。そのため、各所にエコトープを形成し、各々の環境構造の特徴をつかみ、生物多様性の保全にかかる課題に対応している。
- ・衛生環境局内には 11 の部署があり、包括的かつ広範囲の生物多様性に対応できるように整備している
- ・また、ボランティアによる専門家から構成される委員会を設置し、現在の指針が適切であるかどうか確認している。
- ・ロサンゼルス市としては、郊外の砂漠化が大きな問題となっており、自然林の減少も著しいため、政府の関与としては植林が主となっている。
- ・多様性保全のために様々なステークホルダーとの連携が重要であると認識しているが、最も重視しているのは学校との連携である。市民の意識変革をするのに、大人に対してはコストも労力もかかるため、子どもに対する教育に重点を置く方が効率は良い。
- ・自治体間の交流については、National Wildlife Foundation・Biophilic Cities Network、ICLEI などに加盟しているほか、サンフランシスコ市とも連携した事業を実施している。



11月1日（金）

○ロサンゼルス港湾局主催昼食会

場 所：ロサンゼルス港湾局

出席者：ユージーン・セロカ港湾局長

デヴィッド・リバティーク副局長

ディナ・アリヤン＝ザーラン副局長

エリン・ブロマギム ロサンゼルス市副市長

ティム・マコスカー ロサンゼルス市議会議員

他多数

内 容：ロサンゼルス港湾局主催の昼食会に参加した。名古屋市とロサンゼルス市、名古屋港とロサンゼルス港の姉妹提携65周年を記念し、両市の副市長並びに名古屋港管理組合建設部の葛山担当部長及びロサンゼルス港湾局のセロカ港湾局長との記念品の交換を行うとともに、両市・両港の今後の交流について意見交換を行い、親睦を深めた。









### ○ロサンゼルス港湾局視察

場 所：ロサンゼルス港湾局

出席者：ユージーン・セロカ港湾局長

デヴィッド・リバティーク 副局長

ディナ・アリヤン=ザーラン 副局長

エリン・ブロマギム ロサンゼルス市副市長

ティム・マコスカー ロサンゼルス市議会議員

内 容：ロサンゼルス港湾局の施設の視察を行った。特に両港が近年課題として  
いるサイバーセキュリティについて詳細説明を受けた。

#### 【先方からの説明内容】

- ・最新技術を使った国際レジリエンスセンターで認証も受けている。
- ・世界のトレンドをリアルタイムで全て把握出来るシステム。
- ・ステークホルダーとエコシステムの情報の相関関係を把握できる。
- ・IBMとの提携で24時間監視、業務時間内はロサンゼルス港のスタッフが常駐、時間外はIBMにより管理、複数年契約している。



11月2日(土)

○「名古屋デー2024」参加

場 所：ウェストフィールド・センチュリー・シティ

出席者：エリン・ブロマギム ロサンゼルス市副市長

曾根健孝 在ロサンゼルス日本国総領事

照子・ワインバーグ LANSCA委員長

内 容：姉妹都市提携65周年を記念し、本市 PR イベント『名古屋デー2024』が開催された。オープニングはロサンゼルス現地で活動する団体による太鼓パフォーマンスで華やかに始まり、続いてテノール歌手・世歌勳(sekai)氏や現地の歌手であるサマンサ・キム氏による両国の国歌独唱、その後LANSCAの照子・ワインバーグ委員長、在ロサンゼルス日本国総領事館の曾根健孝総領事、中田英雄 市長職務代理者(名古屋市副市長)、田中里佳 名古屋市会議長、エリン・ブロマギム ロサンゼルス市副市長の順で挨拶をした後、記念品の交換が行われた。本市からは名古屋城本丸御殿の重要文化財障壁画「竹林豹虎図」をデザインしたノリタケの陶額を贈り、ロサンゼルス市からはロサンゼルス市役所の絵画が贈られた。













○「姉妹都市提携65周年記念VIPレセプション・夕食会」参加

場 所：フェアモント・センチュリー・プラザ・ホテル

出席者：エリン・プロマギム ロサンゼルス市副市長

ユージーン・セロカ ロサンゼルス港湾局長

曾根健孝 在ロサンゼルス日本国総領事

照子・ワインバーグ LANSACA委員長

他約100名

内 容：ロサンゼルス名古屋姉妹都市委員会とロサンゼルス港湾局が共催する  
姉妹都市提携65周年記念VIPレセプションに参加した。



